

課題名：キュウリ産地の再建

【評価できる点】

- ・キュウリはJA前橋市の重点品目に位置づけており、対象農家も多いことから、適切な課題設定。
- ・雪害後の前橋市のキュウリ産地再建をめざすもので、施設の再建のみでなく、技術面からのサポート計画が特に良いと思う。
- ・高齢化、担い手双方の生産・出荷に求められている労働力の解決面で、評価できる。
- ・数値での見える化。若手生産者育成の視察研修など良い。
- ・栄養診断の実施農家数の拡大に期待。
- ・生産環境の改善はコストも比較的安価で、その効果もほ場で目で見えて実感できたことが生産者に受け入れられたと思う。特に若手の育成に年3～4回と細かく指導していて効果的。
- ・地域で一番の作目を選定したこと、評価している。そして、P. D. C. Aサイクルに則り活動をまとめてある。販売価格が上がれば、産地の再建になると思う。
- ・雪害からのハウス再建完了し、生産性向上のため炭酸ガス施用、硝酸イオンメーターの活用など、数値での見える化したことで適正に管理出来る。
- ・若手生産者育成の視察研修など、技術、生産性向上に繋がる。
- ・ハウスの再建支援も早く、活動体制が大変良いと思う。
- ・JAの選果場も稼働したので、引き続き産地強化に指導願います。
- ・最終目標である産地全体としてのキュウリ生産量が、順調に増加していることから、普及活動の成果が出ているものと評価する。
- ・雪害からの再建のタイミングで、生産環境による生産性の向上のために多方面からの支援を行っていて、生産者はほ場でデータを実感できたことが良かった。二酸化炭素の導入効果もすばらしい数字が出ていて、若手を中心にこれから技術が定着するのではないか。選果場の開設は、キュウリ産地として大きな力になっていく事と思う。
- ・課題の分析・ニーズの把握が適切である。
- ・生産者・JAと連携して施設再建と産地ビジョンによる産地復興に取り組み、ハウス再建支援、産地ビジョン作成、選果場の建設という課題を達成した実績は高く評価できる。生産環境改善による生産性向上支援や若手生産者の育成にも積極的に取り組み、新しい技術の導入や若手生産者の育成支援でも大きな成果を上げており、全国第2位のキュウリ産地の再建に取り組みされた活動は模範的であり、担当職員の熱意が感じられる。

【改善・強化に向けた検討事項（主な意見と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

- ・課題の選定時、全戸意向調査を行ったか？行ってない場合どのような方法でニーズを捉えたのか不明。到達目標の設定が適正かどうか判断出来ない。根拠を提示して貰えると助かる。
- ・キュウリ農家の現状の経営分析をもう少し厳密に行ったらどうか。
- ・到達目標に、生産性の指標（10a当たり収量）を設定できないか。
- ・目標を達成出来なかった理由を追及・分析し、類似の事業に生かして欲しい。

- ・課題の分析は良いが、今後の対応は具体的に数値目標を定めたらどうか。
- ・産地の再建という、難しい課題を解決する事業で大変だと思われるが、他県の類似普及事業（新潟・千葉・高知）なども参考に、販売額、出荷ケース数などといった具体的な到達目標を掲げ、時間は掛かっても達成してほしい。

2 活動内容に関すること

- ・炭酸ガスを施用した生産者は増収効果があるが、広めるために今後どうしていけば良いか。
- ・環境制御技術を導入した農家は、生産量が 1.5 倍程度増加したと言っているが、普及としても技術導入効果がどの程度あるのか実証しておく必要があると思う。
- ・今後選果場が稼働したことで、生産量の増加がどれだけ期待出来るか。
- ・今後の指導重点としては、生産技術が未熟な農家を対象にし、産地全体の底上げを図る必要があると考える。